

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2005-297161 (P2005-297161A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-042
 【出願番号】特願 2004-120043 (P2004-120043)
 【国際特許分類】

B 2 6 D 1/14 (2006.01)

B 2 6 D 1/20 (2006.01)

B 2 6 D 7/08 (2006.01)

B 6 5 H 35/08 (2006.01)

【F I】

B 2 6 D 1/14 G

B 2 6 D 1/20 A

B 2 6 D 7/08 D

B 6 5 H 35/08

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 13 日 (2007.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体の搬送経路上に前記記録媒体の幅方向に移動しながら前記記録媒体を切断するカッターを保持するカッターユニットと、
 前記カッターユニットがかん合し保持される、カッターホルダと、
 カッターホルダに、前記カッターユニットを装着する際にこれに抗する方向に押圧する押圧部材が備えられていることを特徴とする切断装置。

【請求項 2】

前記カッターは、前記記録媒体の幅方向に配置された固定刃に所定の力で押圧されながら前記幅方向に移動し、
 前記カッターホルダには、カッターユニットを該固定刃から離間する方向に押圧する押圧部材が備えられていることを特徴とする請求項 1 に記載の切断装置。

【請求項 3】

前記カッターユニットには、溝とその最奥部にこの溝と直交する溝を有し、カッターユニット全体を回転させることにより前記カッターホルダに備えられた凸部にかん合装着されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の切断装置。

【請求項 4】

前記カッターユニットを押圧する押圧部材は、板状のバネであることを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の切断装置。

【請求項 5】

前記カッターを押圧する別の押圧部材を有し、この押圧部材は、コイル状の圧縮バネであることを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の切断装置。

【請求項 6】

前記カッターは、丸刃であることを特徴とする請求項 1 から 5 に記載の切断装置。

【請求項 7】

前記固定刃は、カッターよりも硬度が高いことを特徴とする請求項 2 に記載の切断装置。

【請求項 8】

請求項 1 から 6 に記載の切断装置を具備した画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するための本発明の切断装置は、記録媒体の搬送経路上に前記記録媒体の幅方向に移動しながら前記記録媒体を切断するカッターを保持するカッターユニットと、前記カッターユニットがかん合し保持される、カッターホルダと、カッターホルダに、前記カッターユニットを装着する際にこれに抗する方向に押圧する押圧部材が備えられていることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

さらに、前記カッターユニットは、溝とその最奥部にこの溝と直交する溝を有し、カッターユニット全体を回転させることにより前記カッターホルダに備えられた凸部にかん合装着されることを特徴としてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

前記カッターを押圧する押圧部材は、コイル状の圧縮バネであることを特徴としてもよい。